

## 社会情報学会 2012 年度 第 2 回情報政策研究会

日時：2月2日（土）14時～16時

場所：東京大学（本郷キャンパス）工学部2号館 92B教室

[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_03\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_03_j.html)

（地図では2つの建物が2本の廊下でつながっているよう記載されていますが、このうち面積が狭い方の建物の9階となります。入館は当該2本の廊下のうち下側の廊下付近からのみとなりますのでご注意ください。）

統一テーマ：『オープンソースと地域情報化政策の展開』

テーマ：オープンソース：集合知の活用によるビジネスモデルの展開

報告者：島根大学法文学部教授 野田哲夫

テーマ：自治体クラウドとオープンソース

報告者：株式会社インターネット・イニシアティブ 高地圭輔

テーマ：オープンイノベーションの経済効果と地域情報産業振興策

報告者：島根大学法文学部特別研究員 谷花佳介

### 【報告趣旨】

Linuxに代表されるオープンソース・ソフトウェア（OSS）はインターネットを利用して自主的に参加する人々が集まり開発が続けられてきた。これはクラウド的、あるいは「集合知」を活用した開発スタイルであり、またクラウドのシステム自体にも多くのOSSが利用されている。そして、情報サービス企業にとって市場や利益創造のもたらし方を変革している。

一方、行政にとってもOSSを導入する第一の理由はコスト削減である。一方で、企業や組織の枠を超えたOSSの開発スタイルは中小の、そして地方の情報サービス企業にとっても開発の「参加」と付加価値の産出の「可能性」を与えるものである。そこで、地方自治体ではOSSの導入と併せて地方の情報サービス企業のOSSの技術力・開発力を養成する産業振興策も行われてきた。

そこで本研究会ではオープンソースによるビジネスモデルを定義した上で、地方自治体が進むクラウド化とオープンソースの採用、および地域情報産業振興政策の成果に関する実証的・理論的な研究成果について報告する。

申込：不要、直接会場へお出で下さい

参加料：無料